第３学年１組　学級活動（１）学習指導案

北九州市立小石小学校

１　議題　「調理師さんに『ありがとう』の気持ちを伝えよう」

２　議題について

（１） 児童の実態

本学級の児童（男子７名、女子１１名）は、明るく元気がよく、周りの人たちへの思いやりがある。学級目標である「一致団結」をテーマに、「笑顔いっぱいで仲良く協力して助け合う」「どんなことにも挑戦して、一生懸命頑張る」を意識しており、係活動等でも、友達とやりたいことを話し合い、協力して意欲的に取り組む姿が多く見られる。友達の発言や行動を否定せずに、温かく受け入れながら、学校生活を送ることができている児童が多い。

これまでの学級会では、子どもたち同士でアドバイスをしたり、お互いの意見を聞き入れたりしながら話合いを進めることができた。賛成意見や反対意見も、理由を明確にしながら意見を発表することができるようになってきている。

一方で、どう伝えていいのか分からない、どれもよさそうに思えて自分の考えを決められない等の理由で、みんなの前で意見を発表することができない児童もいる。また、友達の考えを理解できずに、自分の考えを主張してしまう児童もいて、話合いが停滞してしまうこともあった。自分の考えに自信をもって発表ができるように声掛けをしたり、必要に応じて、教師が話合いの状況を整理したりして、みんなが納得して話合いを進めていけるように指導を続けている。

（２） 議題選定の理由

本議題は、「給食をいつも作ってくれている調理師さんたちにありがとうの気持ちを伝えたい」という思いをもった子どもたちから提案されたものである。これまで、学級活動（２）の食育学習で、「いただきます」「ごちそうさま」の意味について学習してきた。その際、栄養教諭から、給食ができるまでにたくさんの人や生き物が携わっていることを教わり、特に、毎日みんなの給食を３人で作っていることに驚いていた。学習後は、給食室に行った際、「こんなに大きな窯で作っているんだ。」「これだけ広い給食室なのに、３人で作っているんだ。」「調理師さんは、すごいな。」等の発言があり、調理師さんへの関心をもつようになっていた。そこで、「調理師さんたちについて知りたい」という思いが高まり、調理師さんたちへのインタビューも行った。自分たちのために毎日頑張って働いてくれていることを知り、今まで以上に感謝の気持ちをもつようになった。以上のことから、計画委員で話し合い、議題として選定された。

今回は、「調理師さんにありがとうの気持ちを伝えたい」という目的に向かって、みんなで話し合って決めたことをもとに、協力して実践するよさを味わわせていきたい。

３　目標

知識及び技能	○　みんなで楽しい学級生活をつくるために他者と協働して取り組むことの意義を理解することができる。

	○　意見の比べ方やまとめ方を理解し、活動の方法を身に付けることができる。
思考力、判断力、表現力等	○　楽しい学級生活をつくるために、問題を発見し、解決方法について理由などを比べ合いながら合意形成を図り、協力し合って実践することができる。
学びに向かう力、人間性等	○　楽しい学級生活をつくるために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己の考えを生かし、役割を果たして集団活動に取り組もうとする。

4　評価規準

よりよい生活を築くための知識・技能	○　みんなで楽しい学級生活をつくるために他者と協働して取り組むことの意義を理解している。 ○　意見の比べ方やまとめ方を理解し、活動の方法を身に付けている。
集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	○　楽しい学級生活をつくるために、問題を発見し、解決方法について理由などを比べ合いながら合意形成を図り、協力し合って実践している。
主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度	○　楽しい学級生活をつくるために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己の考えを生かし、役割を果たして集団活動に取り組もうとしている。

5　事前の活動

日時	学習活動	○　主な指導上の留意点	【観点】評価規準（評価方法）
11月13日 昼休み	1　計画委員会で議題を選定し、全員にはかり、議題を決定する。 （計画委員）	○　次の学級会の議題を意識することができるように、学級活動コーナーに掲示する。	【主】よりよい学級生活をつくるために、進んで議題を考えたり選んだりしようとしている。（行動観察）
11月14日 昼休み	2　提案理由を基に柱、話合いのめあてを決める。 （計画委員）	○　提案者の思いが実現するように、計画委員と話し合い、決定する。 ○　これまでの話合いを基にめあてを設定する。	【主】提案者の思いを意識しながら、柱の内容を決めようとしている。（発言・行動観察）
11月15日 小石タイム	3　議題、提案理由、めあて、柱を確認し、自分の考えを学級会ノートに書く。 （全員）	○　意見や理由が書けない児童については、個別に声をかけて一緒に考え、自分の意見をもって話合いに参加できるようにする。	【思】調理師さんに感謝の気持ちが伝わる内容を考えながら意見を書いている。（個人ノート）
11月18日 昼休み	4　話合いの準備や練習をする。 （計画委員）	○　話合いをスムーズに進めることができるように、司会進行やノート記録の仕方などについて確認する。	【主】計画委員会の役割を理解し、進んで取り組もうとしている。（行動観察）

		○　フロアの児童が意見を述べやすいように、全員の学級会ノートに目を通しておき、必要に応じて意見の仲間分けをしておく。	【知】自分の役割や学級会の進め方を理解し、友達と協力して準備をしている。（発言内容、行動観察）
11月19日 昼休み	5　学級会のリハーサルを行う。 （計画委員）	○　話合いがスムーズにできるように、役割分担や司会・進行の仕方、黒板記録、ノート記録の仕方を指導する。	
11月20日 昼休み	6　準備を行う。 （計画委員）	○　掲示物の準備がスムーズにできるように、これまでの学級会の記録写真を活用して準備する。	

6　本時の学習

（1）日時　令和６年１１月２０日（水）５校時　於　３年１組教室

（2）主眼

調理師さんに感謝の気持ちを伝えるために歌う歌と渡すプレゼントの内容について話し合うことを通して、友達の意見を理解した上で、自分と友達の意見を比べ合いながら、調理師さんに感謝の気持ちが伝えられるような内容を学級全体で考えて決めることができるようにする。

（3）見方・考え方を働かせている児童の姿

・提案理由やめあてを意識して意見を発表している姿

・友達の考えを理解し、自分と友達の意見を比べ合いながら合意形成を図ろうとしている姿

（4）準備

教師：黒板掲示用プレート（議題・提案理由・柱１・柱２など）、写真、タブレット

児童：学級会ノート（全員）、話合い計画書・学級会グッズ（計画委員会）

（5）展開

第５回いっしょうけんめいがんばる学級会　活動計画	
議　題	調理師さんに「ありがとう」の気持ちを伝えよう
役　割	司　　会（　）（　）　黒板記録（　）（　） ノート記録（　）　　提 案 者（　）
提案理由	私たちのために毎日給食を作ってくれている調理師さんにありがとうの気持ちを伝えたいと思いました。みんなで歌を歌ったり、プレゼントを渡したりしたら、調理師さんにありがとうの気持ちが伝わって喜んでもらえると思ったので、提案しました。
めあて	・調理師さんにありがとうの気持ちが伝わる内容を考えよう。 ・自分の意見を積極的に発表し、友達の意見と比べあおう。
決まっていること	・給食室で行う。 ・プレゼントは一人ずつに渡す。 ・プレゼント作りは全員行う。

学習活動	○　指導上の留意点　　【観点】評価規準（評価方法）
1　はじめの言葉	○　議題、提案理由、めあてなどを意識して話し合いができるように、事前に模造紙や短冊に書き、黒板に掲示しておく。
2　司会グループの紹介	○　自分の役割に対してめあてをもって取り組めるように、自分の役割と頑張ることを発表する。

3　議題と提案理由の確認	○　提案者の思いや願いを発表することで、学級全体で会を作り上げるという意識をもたせるようにする。
4　めあての確認	○　めあてに沿って話合いができるように、全員で声に出して読むようにする。
5　決まっていることの確認	○　全員が同じイメージをもって話し合うことができるように、決まっていることやキーワードを確認する。 **【決まっていること】** **場所：給食室** **内容：5分～10分でできること。** **プレゼントは、調理師さん一人ずつに渡す。** **全員がプレゼント作りを行う。**
6　話合い 柱１ 「歌を決めよう」 くらべ合う→まとめる 柱２ 「調理師さんへのプレゼントを決めよう」 出し合う →くらべ合う →まとめる	○　出し合うでは、子どもたちから様々な意見が出るよう、事前に学級会ノートに書いていた内容を想起させたり、自信をもって発表できるよう声掛けをしたりする。 ○　意見が出ないときは、意見を出しやすくするために、小グループでの話合いを取り入れる。 ○　くらべ合うでは、議題に合う内容になるように、決まっていることを意識させる。意見がそれてきた場合は、タイムを取り、司会グループが声掛けを行い、小グループでの話合いの時間をとる。 ○　友達の意見のよさに気付くことができるように、賛成や反対の理由を短冊に書いたり、賛成・反対マークを利用したりする。 【思】感謝の気持ちが伝わるプレゼントについて、友達の考えを理解し、自分と友達の意見を比べ合いながら合意形成を図っている。（発言内容・行動観察）
7　決まったことの確認	○　全員が決まったことを確認できるように、ノート記録の児童が発表する。
8　話合いの振り返り	○　話合いのめあてや、自分で考えためあてを再度確認させることで、話合いを通して感じたことを具体的に書くことができるようにする。
9　先生の話	○　提案理由やめあてを意識した発言、計画委員会の頑張りなど、本時の話合いでよかったところを評価し、今後の活動も協力して行おうという意識をもたせる。

（６）評価の様相

区　分	様　　相
十分満足できる状況	提案理由や話合いのめあてを意識しながら、自分の意見と友達の意見を比べ合い、合意形成を図っている。
おおむね満足できる状況	友達の意見や教師のアドバイスを受けて、提案理由や話合いのめあてを意識しながら、自分の意見と友達の意見を比べ合い、合意形成を図っている。

7　事後の活動

日時	学習活動	○　主な指導上の留意点	【観点】評価規準（評価方法）
11 月 21 日～	1　プレゼントを作る準備や歌の練習をする。	○　計画に沿って協力して活動できるように、全員で役割を分担して、準備を進める。	【思】合意形成したことを基に、友達と協力して活動に取り組んでいる。（行動観察）
12 月上旬	2　調理師さんにありがとうの気持ちを伝える。	○　調理師さんのことを考えて、感謝の気持ちが伝わるように、声掛けを行う。	【思】プレゼント渡しの目的を意識しながら取り組んでいる。（行動観察）
12 月旬	3　振り返りをする。	○　実践を振り返り、満足感や達成感を感じたり、新たな目標や課題を意識したりすることができるように、児童の努力や意欲などを積極的に認めたり、児童の良さを学級全体で伝え合ったりする。	【主】プレゼント作りを振り返り、自分や友達の頑張りを認めたり伝えたりしている。（個人ノート、発言）